

令和4年1月7日

教職員各位

徳島大学危機対策本部長

徳島大学長

野地 澄晴

### 授業の実施等について（1月7日更新）

国がまん延防止等重点措置の適用を決定したことに伴い、令和3年11月25日に通知しました内容を、下記のとおり更新します。

なお、BCPは全学「レベル1」を継続します。

新たな変異株（オミクロン株）による感染者が、全国的に急増しています。

本県においても「オミクロン株」の陽性者が確認されたことや、隣接県でオミクロン株の市中感染が確認されていることを踏まえ、ワクチン接種者も含めて、体調管理及びマスクの正しい着用、手指消毒、三密回避といった基本的な感染対策を徹底し、感染拡大につながらないように、皆様の一層のご協力をお願いします。

※下記のうち下線部分は、令和3年11月25日付け通知からの変更箇所

学生及び保護者に対しては、本学ホームページと教務システムにより、別紙のとおり通知することとしております。

今後も状況を確認しながら対応を判断し、変更する場合は改めて通知します。

### 記

#### ◆まん延防止等重点措置に伴う対象期間等 令和4年1月11日（火）～当面の間

まん延防止等重点措置の指定区域（以下「指定区域」という。）は、指定区域の最新情報は各道県ホームページで確認してください。

#### 学生の移動について

県をまたぐ移動や不要不急の外出は避けるとともに、やむを得ず県をまたぐ移動をする場合には、移動先の都道府県が発信している最新の情報を確認し、感染予防対策を徹底する、又は感染拡大の警報等が発信されている地域への移動を見合わせるなど、感染リスクに応じた対策をとるよう指導してください。

やむを得ず指定区域へ移動した場合は、再び徳島県内に戻った日の翌日から起算して、14日間の自宅待機による体調確認期間を確保するよう指導してください。14日間の自宅待機については、帰省等の理由で指定区域に滞在している学生が徳島県内に戻ってくる場合も含みません。

ただし、通学に伴う県をまたぐ移動については、14日間の自宅待機は不要とします。

なお、診療現場で教育を受ける学生は、当該診療施設の対応に従ってください。

#### ◆BCPに伴う対象期間 当面の間

BCPレベル 1：全学

## 1. 授業等について

(1) 学部等において十分な感染防止対策を講じた上で対面授業及び学位取得のための研究等を行います。

なお、新型コロナワクチン接種の有無によって、授業実施可否及び授業への出席可否等の制限を行うことは原則としてしないでください。

各学部等においては、学生の安心・安全を最優先に考え、感染防止に配慮いただくよう、重ねてお願いします。

※「遠隔授業等」とは、Web環境を活用したTeams、Zoom、ライブ配信システム、manaba等による教材配信、課題提出等、対面によらない全ての授業形態を指す。

※「対面授業」とは、講義室で行う一般的な授業（定期試験を含む）のほか、演習、実験、実習、卒業研究を含みます。

※自宅等に遠隔授業等の受信環境が十分でない学生には、WEB環境と感染防止対策が整った教室等を提供してください。

※自宅等から遠隔授業等を実施する場合の学生との連絡方法として、教務WEBシステムの学外利用機能を活用してください。

※教員（非常勤講師を含む。）が、自宅等で遠隔授業等を行う場合は、労働時間、休暇等に関する規則第6条に定める事業場外勤務として取り扱います。（「事業場外勤務届」の提出は不要です。）

(2) 体調確認期間の確保や感染又は発熱等の風邪症状等の理由により、授業等（定期試験を含む）に出席できない学生については、欠席扱いとはせず、欠席回数分の補講や課題提出、録画した授業を視聴させる等の代替措置、定期試験については追試験等の措置を行い、学生の単位取得に影響が出ないようにすること。

## 2. 学生の学内への立入について

感染拡大防止に最大限の配慮（3密回避、マスクの着用、咳エチケット、手洗い手指消毒等）をした上で、立ち入ることができます。

なお、食事、授業（自習等を含む）及び用務等の終了後は、速やかに帰宅するよう指導してください。

## 3. その他、各学部等の状況や特性に応じて対応してください。

### 参考資料

・厚生労働省（新型コロナウイルス感染症について）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

・感染拡大防止特設サイト（内閣官房）

変異株に対応するための感染対策／再拡大防止のための日常生活のあり方／飲食の場面・職場におけるコロナ対策／感染リスクが高まる「5つの場面」など

<https://corona.go.jp/proposal/>

（本件に関する連絡先）

学務部教育支援課教務・情報係（担当：小倉・酒井）

TEL 088-656-7095・7683（内線(常三島：82)7095・7150)

E-Mail [kygakujk@tokushima-u.ac.jp](mailto:kygakujk@tokushima-u.ac.jp)

令和4年1月7日

学生及び保護者の皆様へ

徳島大学長  
野地 澄 晴

授業実施・学生生活及び課外活動について（1月7日更新）

国がまん延防止等重点措置の適用を決定したことに伴い、令和3年11月25日に通知しました内容を、下記のとおり更新します。

なお、BCPは全学「レベル1」を継続します。

新たな変異株（オミクロン株）による感染者が、全国的に急増しています。

本県においても「オミクロン株」の陽性者が確認されたことや、隣接県でオミクロン株の市中感染が確認されていることを踏まえ、ワクチン接種者も含めて、体調管理及びマスクの正しい着用、手指消毒、三密回避といった基本的な感染対策を徹底し、感染拡大につながらないように、皆様の一層のご協力をお願いします。

また、今後も状況を確認しながら対応を判断し、変更する場合は改めて通知します。

記

◆まん延防止等重点措置に伴う対象期間等 **令和4年1月11日（火）～当面の間**

まん延防止等重点措置の指定区域（以下「指定区域」という。）は、指定区域の最新情報は各道県ホームページで確認してください。

**県をまたぐ移動について**

県をまたぐ移動や不要不急の外出は避けるとともに、やむを得ず県をまたぐ移動をする場合には、移動先の都道府県が発信している最新の情報を確認し、感染予防対策を徹底する、又は感染拡大の警報等が発信されている地域への移動を見合わせるなど、感染リスクに応じた対策をしてください。

やむを得ず指定区域へ移動した場合は、再び徳島県内に戻った日の翌日から起算して、14日間の自宅待機による体調確認期間を確保してください。なお、14日間の自宅待機については、帰省等の理由で指定区域に滞在している学生が徳島県内に戻ってくる場合も含まれます。

ただし、通学に伴う県をまたぐ移動については、14日間の自宅待機は不要とします。

なお、診療現場で教育を受ける学生は、当該診療施設の対応に従ってください。

◆BCPに伴う期間 **当面の間**  
**BCPレベル 1：全学**

1. 授業等について

(1) 学部等において十分な感染防止対策を講じた上で対面授業及び学位取得のための研究等を行います。

なお、新型コロナワクチン接種の有無によって、授業実施可否及び授業への出席可否等の制限が行われることは原則としてありません。

※「遠隔授業等」とは、Web環境を活用した Teams、Zoom、ライブ配信システム、manaba 等による教材配付、課題提出等、対面によらない全ての授業形態を指す。

※「対面授業」とは、講義室等で行う一般的な授業（定期試験を含む）のほか、演習、実験、実習、卒業研究を含みます。

※自宅等に遠隔授業等の受信環境が十分でない学生には、Web環境と感染防止対策が整った教室を確保しています。詳しくは学部等の掲示板等をご確認ください。

**(2) 体調確認期間の確保や感染又は発熱等の風邪症状等の理由により、授業等（定期試験を含む）に出席できない学生**については欠席扱いとはせず、欠席回数分の補講や課題提出、録画した授業を視聴させる等の代替措置、定期試験については追試験等の措置を行い、学生の単位取得に影響が出ないようにしますので、**各学部学務担当係（教養教育科目は教養教育係）等、各学部等の指示に従って連絡してください。**

## 2. 授業実施、課外活動及び生活上の注意事項について

(1) 屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合以外はマスクを着用し、**大声での会話や飲食をしながらの会話は避ける**とともに、日常時も必要以上の会話は控えてください。

また、マスクの着用については、マスクの素材により感染防止効果に違いがあることが指摘されていることから、不織布マスクの着用を推奨します。

(2) 3密（密閉・密集・密接）が回避できないような空間に集団で集まることを避けてください。

(3) **授業終了後は、学内に留まらず帰宅**し、自宅で事前・事後学修を行ってください。

(4) 日頃から十分な栄養、睡眠を確保し、毎日の体温測定など、適切な健康管理を行ってください。

(5) **手指の消毒や咳エチケットの励行**により、感染予防を徹底してください。

(6) 大学から発信される情報に常に注意を払い、適切に対応してください。大学からの通知は、原則「本学ホームページ」又は「学生用教務システム」から配信しますので、随時確認するようお願いいたします。

(7) **体調不良や保健所や医療機関の指示でPCR検査を受ける場合、親しい友人や同居する家族が濃厚接触者になった場合、濃厚接触者として保健所から連絡を受けた場合などは、プライバシーの保護には十分配慮しますので、必ず各学部学務担当係へ連絡するとともに、「新型コロナウイルスに関する措置（学生版）」に従って対応してください。**

(8) アルバイトについては、3つの密（密閉・密集・密着）を回避できない、また、マスクを着用しないよう指導される等、感染予防上、問題があると考えられるアルバイトは自粛してください。

※ 学生後援会に、学生の経済的支援を目的とする「学生金庫」の制度があります。無利息で10万円（上限）の貸し付けを受けることができる制度です。

詳しくは、各学部学務担当係か徳島大学学生後援会にお問い合わせください。

(9) 「5つの場面」(詳細は参考資料参照)は感染リスクが高まりますので留意してください。特に、**集団行動**(特に**食事、飲み会、カラオケ、ドライブ**など)は、引き続き、**自粛**してください。

ただし、**次に掲げる場合は除きます**。

- ・自治体から飲食店への時短要請及び酒類提供の規制が行われていない場合
- ・ワクチン・検査パッケージ制度が適用されている場合

(10) 喫煙場所での感染リスクが指摘されていますので、喫煙される方は注意してください。

(11) 海外渡航について、私事渡航は自粛してください。また、海外から帰国した場合は、14日間の自宅待機のうえ、体調確認を行っていただくこととなります。

### 3. 学内への立入について

感染拡大防止に最大限の配慮(3密回避、マスクの着用、咳エチケット、手洗い手指消毒等)をした上で、立ち入ることができます。

なお、食事、授業(自習等を含む)及び用務等の終了後は、速やかに帰宅してください。

### 4. 課外活動上の注意について(公式・非公式の別は問わない。)

#### (1) 課外活動

**課外活動(オンライン等の対面によらない活動を除く)**は、下記の事項に留意し、事前に「課外活動許可願」により許可を得た場合は、活動を可能とします。

なお、過去に活動許可をもらっている場合でも、改めて助言指導教員と相談のうえ、「課外活動許可願」を提出(9月21日以降に提出済のものは除く)し、許可を得た場合は、活動を可能とします。

#### ①屋内施設での課外活動について

密集対策、密着対策、手洗い、うがい、マスク着用、また、参加者を必要最小限の人数に分割するなど、十分な感染防止対策を講じた上での活動は可能とします。

また、音楽系サークルなどで集団での活動が必要な場合は、人と人との間に十分な距離をとり、定期的な換気を行い、活動中の私語を禁止するなど3密対策を講じた上で活動してください。

#### ②屋外施設での課外活動について

密集対策、密着対策、手洗い、うがい、マスク着用など、十分な感染防止対策を講じた上での活動は可能とします。

なお、各体育系サークル等が所属する連盟が公表している活動指針がある場合は、これを十分確認し、指針に基づいた活動を行ってください。

#### ③他大学の学生等と一緒にを行う課外活動について

他大学の学生等と一緒にを行う課外活動については、①、②と同様の感染防止対策を講じた上で活動してください。

#### (2) 課外活動関連のイベント等

**イベント等(オンライン等の対面によらない活動を除く)**は、事前に許可を得た場合は、開催や参加を許可します。

特にクラスター(集団)による感染発症リスクが高いことが想定されますので、開催や参加にあたっ

ては、下記の事項に留意してください。

なお、本学の学生団体等がイベントを主催する場合又は他機関等が主催するイベントに参加する場合は、必ず「集会・行事届」に必要事項を記入し、開催又は参加の1週間前までに、参加者名簿に開催要項等を添えて学生支援課へ提出してください。

①学生団体等が主催するイベント

学外者の参加が見込まれるものは、関連する最新の情報等を踏まえて適切に対応してください。

屋内イベントは、最大 1,000 人で収容率が 50%以内であること、屋外イベントは、最大 1,000 人で人と人との十分な間隔（2m以上）を確保できることとし、参加者の人数や氏名等の管理が出来る場合に限り、開催を可能とします。

②他機関主催の大会やイベント

県外地域で開催されるものへの参加は、関連する最新の情報等を踏まえて適切に対応してください。

なお、県内で開催されるものは、十分な感染防止対策を講じた上での参加は可能とします。

ただし、県内での開催であっても、県外地域からの参加者が見込まれるものへの参加は、関連する最新の情報等を踏まえて適切に対応してください。

(3) 勧誘活動及び勧誘イベント等

**屋内・屋外を問わず、長時間にわたる飲食を伴う勧誘活動や会合は、当面の間、禁止します。また、課外活動の見学会については、3密が回避できるよう人数を制限し、十分な感染防止対策を講じた上での実施は可能とします。**

また、3密の回避等、十分な感染防止対策を講じた上で行う屋外での手渡しによるチラシ等の配布やポスター等の掲示、動画配信やHPの更新等はいかまいませんが、動画配信を行う場合は、事前に学生支援課に相談が必要です。なお、動画等作成時においては、3密を回避するよう気をつけてください。

※屋外での手渡しによるチラシ等の配布は、学生会館及び蔵本会館前のみ限定し、配布者は1サークルにつき3人までとします。

(4) 課外活動施設の使用

**課外活動施設（学生会館、体育館、課外活動棟）の使用**については、活動を許可された場合に限り、感染防止対策を講じた上での使用は可能としますが、3密対策を講じることが難しい部室やトレーニングルーム、シャワールームの使用は、1回の入室人数を必要最小限に制限する、使用後のアルコール消毒や換気等、十分な感染防止対策を講じることができる場合は、使用可能とします。

(5) 物品の貸し出し

**物品の貸し出しは、引き続き行いません。**

(6) 上記(1)から(4)に記載した事項が守られない場合は、当該学生団体の活動を制限する場合がありますので注意してください。

以上

### 【各部局問合せ先】

(教養教育に関すること) (常三島キャンパス)	教養教育係	088-656-7308
総合科学部・総合科学教育部・創成科学研究科(地域創成専攻・臨床心理学専攻)	学務係	088-656-7108
理工学部・先端技術科学教育部・創成科学研究科(理工学専攻)	学務係	088-656-7315
生物資源産業学部・創成科学研究科(生物資源学専攻)	学務係	088-656-8021
(蔵本キャンパス)		
医学部医学科・医科栄養学科・医科学教育部・栄養生命科学教育部	学生係	088-633-7982
医学部保健学科・保健科学教育部		088-633-7030
歯学部・口腔科学教育部	学務係	088-633-7310
薬学部・薬科学教育部	学務係	088-633-7247

### 【こころの不安に関する問い合わせ先】

キャンパスライフ健康支援センター総合相談部門 連絡先：088-656-7637、hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp

### 【学生生活及び課外活動に関する問い合わせ先】

学務部学生支援課学生支援係 連絡先：088-656-7086、7287

### 【「学生金庫」に関する問い合わせ先】

徳島大学学生後援会 連絡先：088-656-7087

### 参考資料

- ・厚生労働省（新型コロナウイルス感染症について）

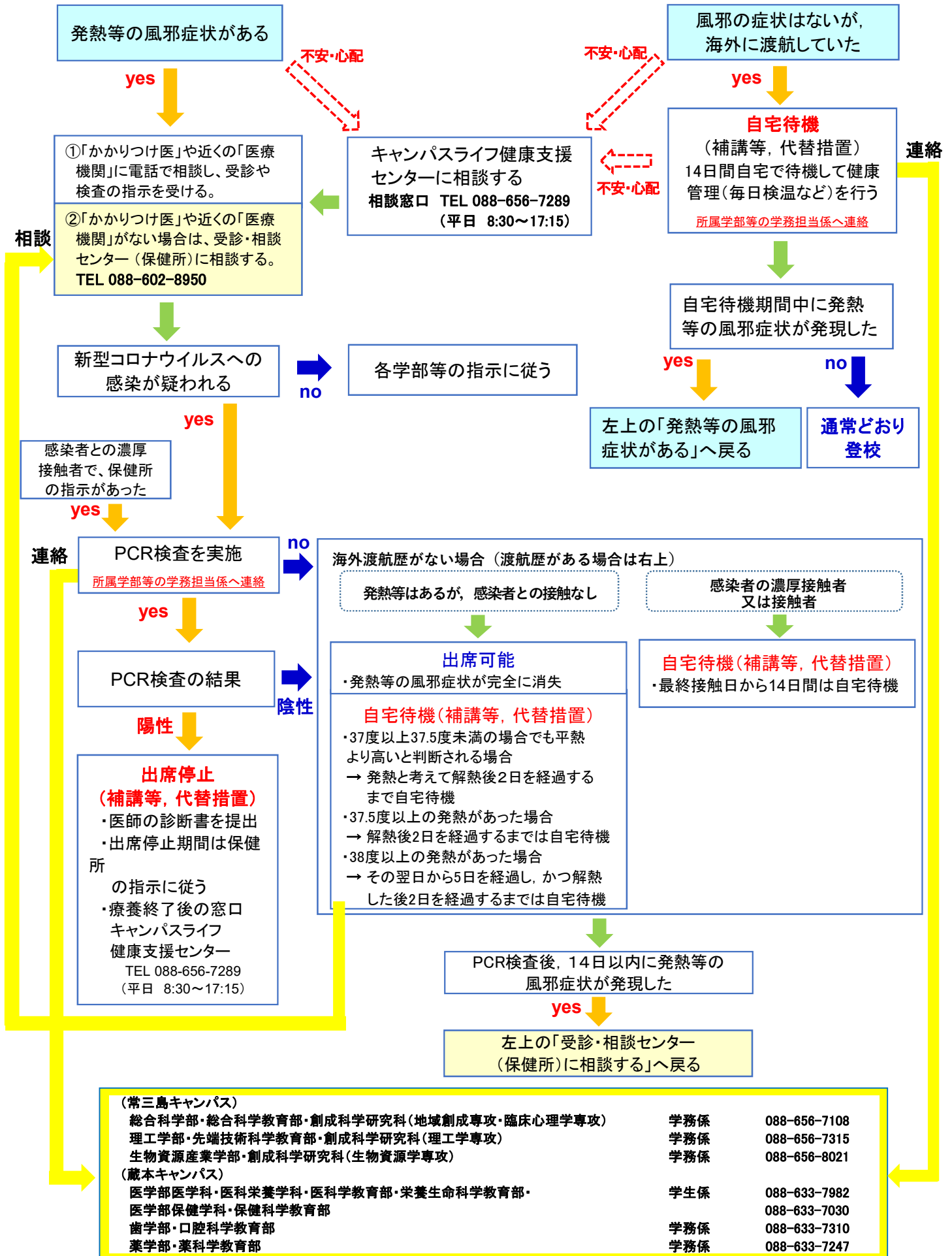
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

- ・感染拡大防止特設サイト（内閣官房）

変異株に対応するための感染対策／再拡大防止のための日常生活のあり方／飲食の場面・職場におけるコロナ対策／感染リスクが高まる「5つの場面」など

<https://corona.go.jp/proposal/>

新型コロナウイルスに関する措置（学生用）



<b>(常三島キャンパス)</b>		学務係	088-656-7108
総合科学部・総合科学教育部・創成科学研究科(地域創成専攻・臨床心理学専攻)		学務係	088-656-7315
理工学部・先端技術科学教育部・創成科学研究科(理工学専攻)		学務係	088-656-8021
生物資源産業学部・創成科学研究科(生物資源学専攻)			
<b>(蔵本キャンパス)</b>		学生係	088-633-7982
医学部医学科・医科栄養学科・医科学教育部・栄養生命科学教育部・			088-633-7030
医学部保健学科・保健科学教育部		学務係	088-633-7310
歯学部・口腔科学教育部		学務係	088-633-7247
薬学部・薬科学教育部			